



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2011, 96(6): 753-753

ISSUE DATE:

2011-09-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169611>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成23年9月5日発行(毎月1回5日発行)
物性研究 第96巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.96 no.6

物性研究

2011 / 9

1. 本誌は、主として物性分野の研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu **94** (2010), 1. のように引用して下さい。

[投稿要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 原則として著者が作成した原稿をそのまま印刷しますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 本文の版のサイズは、横 14 cm、縦 20.5 cm になります。A4 で原稿を作成する場合は、横 16 cm、縦 23.5 cm にしてください。縮小率は、約 88 % ですので、活字や図の大きさの目安にして下さい。
 - 2) 第 1 ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 3) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 4) 上記は一応の目安ですので、体裁に多少の違いがあってもかまいません。
3. 本誌は白黒印刷ですので、カラーの図の使用は避けてください。黄色などの薄い色は印刷すると消えたり、色でデータを指定している場合は区別ができなくなります。はっきりした線を用いた、適度な大きさの鮮明な図を使用して下さい。
4. 他の出版物から図をそのまま引用する場合は、出版元への転載許諾が必要です。
5. 投稿は、片面印刷した原稿（ハードコピー）を郵送していただくか、原稿の PDF ファイルをメール添付等でお送りください。(1) ハードコピーの場合は、そのまま写真印刷しますので、必ず片面印刷をお願いします。(2) PDF の場合は、文字化けしないように、フォントを埋め込んだファイルにして下さい。なお、こちらで体裁を修正することがありますので、後日、編集可能なファイル（Tex や Word 等）をお願いすることがあります。
6. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50 部以上 10 部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。印刷後の別刷注文は不可能です。
7. 別刷代金、研究会報告の投稿要領、その他不明の点は、本誌ホームページをご覧ください。また、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

皆さんは Twitter を使ったことがありますか？ 今何かと話題なので（と書いているそばから「何をいまさら…」という苦笑が聞こえてきそうですが）、仕事に趣味に活用している方も多いかと思いますが、私は未だトライしていません。最近、ニュースをチェックしていると、「従業員が顧客の一挙一動を生中継して解雇された」、「有名人が過激な意見を表明したら賛否両論大騒ぎになった」、挙げ句の果てには「学生が自分の飲酒運転をリアルタイムで告白して問題になった」など、Twitter が思わぬ波紋を呼んだという話をよく見かけます。気軽に自分の意見などを発信できるようになったのは素晴らしいのですが、昔なら「ここだけの話だけど…」とやっていたような微妙な「つぶやき」まで何千、何万という人の目に触れてしまうので、ユーザの側のマナーが大事と言えそうです。新しすぎてユーザの方の使い方がまだ成熟していないということかも知れません。最近のエジプトの政権交代や Google の躍進などを見るにつけ、インターネットが、その功罪はともかく（入試の時に調べ物をする人が出てきたのは論外ですが…）当初の目的を大きく超え、その誕生から 20 数年を経てついには政治や文化のあり方まで変えてしまうほどの 20 世紀の大発明であったことを痛感します。

もちろん、我々研究者の日々の研究スタイルも大いに変わりました。arXivのおかげで、昔はボスの先生の所にプレプリントが郵送されてくるのでもなければ入手できなかった最新の情報が、今では駆け出しの大学院生でもいとも簡単に入手できます。（ちなみに、arXiv がスタートしたのは、私が修士の学生の頃でしたが、その頃はメールでリクエストすると TeX のソースが送られてきて、図版などは無しだった記憶があります。）図書館に行ってソファに座って新着雑誌をチェックしたり、コピーカード片手に論文をコピーすることもほとんどなくなりました。新しい雑誌の中には、オンライン版しかないものすら増えてきています。紙媒体の書籍、雑誌が消えてなくなるということはないのですが、電子化された書籍の気軽に持ち運べる利便性というのはやはり大きなものがあります。皆さんご存じのように物性研究は来年度からオンラインの電子版のみの刊行となります。旧版の物性研究の解説記事は、私自身大学院生の頃いろいろお世話になった記憶がありますし、力作の修士論文が掲載されたことがある方など、皆それぞれに思い出があると思います。来年度からスタートする新生「物性研究」の成功を願ってやみません。

(K. T.)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

柳田 達雄 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
川口 由紀 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
柳瀬 陽一 (新潟大・理・物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)
水島 健 (岡大・理・物理)
栗津 暁紀 (広大・理・数理分子生命)
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 96 卷第 6 号 (平成 23 年 9 月号) 2011 年 9 月 5 日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 96-6 (9月号) 目 次

○シリーズ「超伝導・超流動研究の接点」	
・フェルミ原子光格子系の基礎知識	奥村 雅彦 617
○修士論文 (2010 年度)	
混雑効果に誘導される高速なフォールディング過程	大竹 亮介 657
多バンド超伝導体におけるコヒーレンス効果	増田 啓介 716
○編集後記	753